



令和4年12月23日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担 当	担当者	電話番号
広報課	政策広報係	中 島	2075

## 令和4年の県政を振り返って

波を重ねる度に感染の規模とスピードが拡大した新型コロナウイルス感染症に対し、「県民の生命を守る」体制整備を最優先としつつ、社会経済活動の両立・再開を図りながら「オール岐阜」で取り組んだほか、ロシアのウクライナ侵攻に起因するエネルギー価格・物価高騰対策等を実施した1年となりました。

また、新県庁舎の整備を着実に進め、アフター・コロナに向けたDXやSDGsの推進、「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けた取組みや新次元の地方分散への対応など、未来を見据えた「清流の国ぎふ」づくりを積極的に進めました。

※【 】:実績数値等は、注意書きがない限り令和4年12月8日現在

### I ウィズ・コロナからアフター・コロナへ

- 1 ウィズ・コロナ ～生命と暮らしを守る～ 《P.2》
  - (1) 感染拡大防止対策の推進・医療提供体制の確保
  - (2) 孤独・孤立対策の推進
  - (3) 中小企業等への支援
- 2 アフター・コロナ ～未来を創る～ 《P.9》
  - (1) デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進
  - (2) 持続可能な社会づくり(SDGs・脱炭素社会)
  - (3) 新次元の地方分散・新たな産業の創出

### II 未来を見据えた「清流の国ぎふ」づくり

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略に基づいた施策の展開 《P.15》
- (1) 「清流の国ぎふ」を支える人づくり
  - (2) 健やかで安らかな地域づくり
  - (3) 地域にあふれる魅力と活力づくり

# I ウィズ・コロナからアフター・コロナへ

## 1 ウィズ・コロナ ～生命と暮らしを守る～

新型コロナウイルスとの闘いは3年目に突入。オミクロン株「BA. 5系統」の流行により、かつてない規模とスピードで感染が急拡大し、医療現場や保健所が限界を来すほどひっ迫した状況となりました。

こうしたことから、医療・療養・検査体制の重点化と再整理をし、現場の負担を軽減するとともに、適切な医療・保健サービスが提供できるよう、全数把握を継続しました。

加えて、ワクチン追加接種のための体制整備、あらゆる機会での周知啓発により、高齢者の3回目・4回目接種率は全国トップクラスとなりました。

また、コロナ禍における孤独・孤立対策や、原油価格・物価の高騰や30年ぶりの円安の影響を受けた事業者等を支援するため、機動的に補正予算を編成し、適時・適切な経済対策を講じました。

	期 間	1日あたりの感染者ピーク	主な出来事	対 策
第6波	R3年12月下旬～6月下旬	1,234人 (2/15)	1/3 オミクロン株市中感染者を県内初確認 1/17 県独自の非常事態宣言 1/19 まん延防止等重点措置区域指定(～3/21) 1/22 二度目の自宅療養開始	1/11 「第6波」突入 オミクロン株緊急対策 1/28 オミクロン株拡大阻止宣言 2/10 まん延防止等重点措置の延長を受けて 4/22 感染再拡大危機に備えて 5/30 「ウィズ・コロナ」総合対策の実施について
第7波	6月下旬～	5,116人 (8/23)	6/22 「BA. 5」市中感染者を県内初確認 7/15 保健所業務の縮小・再整理を実施 8/9 保健所業務のさらなる縮小・再整理を実施 8/12 岐阜県陽性者登録センター(※)の運用開始 (※)9/26 岐阜県陽性者健康フォローアップセンターに変更 9/26 全数届出の見直し 11/9 新型コロナ感染対策チェックリスト(家庭向け・事業者向け)の配布	7/15 「第7波」急拡大防止に向けて 7/27 「第7波」急拡大への対応 8/5 「第7波」感染急拡大継続への対応～岐阜県BA. 5対策強化宣言～ 9/22 「第7波」の終息に向けて 10/20 「第7波」リバウンドの阻止 11/9 感染急拡大の徹底阻止 11/29 岐阜県医療ひっ迫警戒宣言～かつてない年末年始を避けるために～ 12/23 岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言

## (1) 感染拡大防止対策の推進・医療提供体制の確保

### ①「オール岐阜」による推進体制

- ・ 昨年に引き続き、全市町村、医療、経済・観光など幅広い機関と連携した「新型コロナウイルス感染症対策協議会」及び全庁体制での「新型コロナウイルス感染症対策本部本部員会議」を同時開催(17回)。オール岐阜で意思決定・対策を実行
- ・ 感染症・救急医療の専門家、県医師会、県病院協会、県内の医療機関等が参加した「新型コロナウイルス感染症調整本部」を開催(6回)し、病床数の拡充と受入体制を強化

### ②医療・療養・検査体制の重点化と再整理

- ・ 発熱外来の負担軽減のため、「岐阜県陽性者登録センター(現在は「岐阜県陽性者健康フォローアップセンター」)」を開設(8/12)し、有症状者の自主検査や薬局等での無料検査による陽性判定について診断
- ・ 医療現場の負担軽減のため、65歳未満の低リスクの陽性者について、発生届の届出項目を18項目から8項目へ約6割削減(9/2～)
- ・ 聞き取り調査の対象となる陽性者を重点化(8/11～)したほか、陽性者の同居家族に対する行政検査を中止(8/6～)。また、自宅療養者への健康観察を簡素化し、ハイリスク者以外で健康観察の対象とする者の範囲を「65歳以上」に限定(8/12～)

### ③感染症法に基づく全数届出の見直しと全数把握の継続

- ・ 全ての陽性者に適切な医療・保健サービスが提供できるよう、法律に基づき発生届出が必要なハイリスク者以外の者についても、「氏名」「生年月日」「所在市町村名」「電話番号」の4項目について情報把握を継続(9/26～)

### ④福祉施設などに対する感染防止対策の徹底

- ・ 福祉施設に対し、平時と感染発生初動時の対応についてチェックリストを作成し、確実に実行できるよう初動訓練実施を要請
- ・ 幼稚園・保育所等から大学等高等教育機関まで、専門家監修の感染防止対策動画による職員研修を実施

### ⑤医療機関などに対するオンライン診療設備導入の支援

- ・ へき地や中山間地域における往診、訪問診療を行う医療機関の負担軽減と患者の医療確保のため、医療機関等が行うオンライン診療を支援  
岐阜県オンライン診療設備整備費補助金(受付:7/19～R5.2/28)

【25者、6,851千円】

## ⑥学校の感染防止対策の徹底

- ・ 部活動における大規模な感染拡大事案の発生を踏まえ、部活動で特に注意すべき具体的な感染防止対策を、健康チェックカードとチェックリストに追加(8/19)
- ・ 学校等の感染症対策を各種補助金により支援

【公立学校(小中高特):1,010校 754,029千円】

【公立幼稚園:34校 5,220千円】

【私立幼稚園:61園 26,987千円】

## ⑦飲食店に対する換気対策の支援

- ・ エアロゾル感染の防止を一段と強化するため、飲食店が実施する換気設備の設置工事及びこれに付随する空気清浄機の購入にかかる経費を支援

飲食店換気対策支援補助金(受付:6/30~10/31)

【1,105件、470,316千円】

## ⑧社会機能維持に向けたBCP(事業継続計画)策定の支援

- ・ 企業等に対して、県ホームページで新型コロナウイルス感染症対応BCP「簡易版基本モデル(感染拡大型)」を公表(1/28)するとともに、BCP策定支援セミナーをオンライン開催(R3.7/27~2/15、7/26~R5.1/17)し、速やかなBCP策定を支援
- ・ 福祉施設、教育機関、保育所等に対して、BCP策定例(ひな型)を配布するとともに、研修動画の配信や助言等により、速やかなBCP策定を支援

## ⑨ワクチン接種の加速化

- ・ 3回目・4回目の追加接種(R3.12~、5/25~)、小児接種(2/21~)、武田社ワクチン接種(5/25~)、オミクロン株対応ワクチン接種(9/20~)、乳幼児接種(10/24~)と、ワクチンの接種体系が複雑化する中、市町村の接種状況や進捗状況を丁寧にフォローアップするとともに、県大規模接種会場を開設し、希望者への円滑な接種体制を構築。高齢者への3回目接種を全国トップの接種スピードで完了(2/28)し、オミクロン株対応ワクチンも全国トップクラスのスピードで接種(12/8時点 全国7位)
- ・ ワクチン接種の周知啓発を強化するため、従前の県公式ツイッター、新聞広告、テレビ・ラジオ等に加え、新たにJR岐阜駅前大型ビジョン、FC岐阜ホームゲーム、道の駅、県内大型商業施設、笠松競馬場などで広報を実施

## ⑩機動的な補正予算の編成

- ・ 適時適切に補正予算を編成し、コロナへの対応やエネルギー価格・物価等高騰対策を実行

【計6回、73,352,117千円】

## (2) 孤独・孤立対策の推進

### ①生活困窮者の支援

#### ○低所得のひとり親世帯への給付金の支給

- ・ 低所得のひとり親世帯に対して児童一人あたり一律5万円の給付金を支給  
令和4年度低所得者の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)(受付:6/15~R5.2/28)

【1,687世帯、126,350千円】

#### ○生活福祉資金・住居確保給付金などの確保・支給

- ・ 収入減となった世帯を対象とした貸付金や貸付限度額まで利用した世帯への支援金のほか、住居を失うおそれがある方への給付金について、所要額を確保し、適時適切に支給

生活福祉資金貸付制度(特例貸付)(受付:R2.3/25~9/30)

【32,564件、9,733,229千円】

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金(受付:R3.7/1~12/31)

【1,970件、441,750千円(10月末現在)】

住居確保給付金(受付:R2.4/20~R5.3/31)

【3,190件、301,286千円(10月末現在)】

### ②孤独・孤立に不安を抱える女性への支援

- ・ 孤独・孤立に不安を抱える女性への相談窓口を設置するとともに、顕在化した「生理の貧困」問題に対する緊急的な支援として、オンライン及び相談窓口等で生理用品の配布を実施(受付:4/1~R5.3/31)

## (3) 中小企業等への支援

### ①米価下落等に対する事業者の支援

- ・ 産地の構造改革の取組みや農産物の安定生産に対応するため、生産基盤となる機械・施設等の整備等を支援

元気な農業産地構造改革支援事業費補助金(受付:2/24~3/9)

【5者、19,800千円】

### ②原油価格・物価高騰に対する事業者の支援

#### ○オミクロン株の影響により売上が減少した事業者への支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大や長期化に伴う影響により、売上が15%以上減少した事業者を支援

岐阜県オミクロン株対策特別支援金(受付:2/22~5/31)

【32,071者、4,628,400千円】

#### ○原油価格・物価高騰の影響を受けた事業者への事業継続・事業転換支援

##### ◇原油価格・物価高騰等に対応した融資枠の創設

- ・ 原油価格・物価高騰の影響を受ける中小企業向けの県制度融資を創設するとともに、融資を受ける際の信用保証料を全額支援

原油価格・物価高騰等対策資金(受付:7/1~R5.3/31)

【106件、1,755,400千円(10月末現在)】

◇地場産業に対する原油価格・物価高騰への支援

- ・ 原油価格・物価高騰の影響を受ける製造業を営む地場産業事業者に対し、一律10万円の支援金を支給

岐阜県原油高・物価高騰における地場産業支援金(受付:7/1~12/28)

【3,836者、383,600千円】

◇事業転換や新商品開発に必要な設備導入などへの支援

- ・ 小規模事業者が取り組む事業・業態転換や、地場産業事業者が取り組む新商品開発に必要な設備の導入などの支援について、原油価格・物価高騰対策枠を創設して拡充

アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金(受付:4/11~5/18、7/7~7/29)

【383者、839,363千円】

アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金(受付:4/4~5/13、7/11~8/5)

【66者、469,129千円】

○燃料価格高騰への負担軽減

◇地域公共交通事業者に対する燃料高騰への支援

- ・ 原油価格の高騰により影響を受けている地方鉄道事業者・広域バス路線事業者・タクシー事業者に対し、燃料価格上昇相当分を支援

岐阜県地方公共交通燃料価格高騰対策支援金(受付:7/25~8/31、10/18~11/30)

【316者、211,545千円】

◇持続可能な地域物流モデルの構築の支援

- ・ 県内工業団地などと運送事業者による共同輸配送サービス機能を構築するとともに、参加する製造事業者に対し原油価格高騰による輸送費を支援

製造業における持続可能な地域物流モデル推進事業(受付:7/1~R5.3/31)

【モデル事業参加:172事業所】

◇貨物自動車運送事業に対する燃料価格高騰への支援

- ・ 原油価格の高騰により影響を受けている貨物自動車運送事業者に対して、燃料費高騰分の一部を支援

岐阜県貨物自動車運送事業者燃料費支援金(受付:11/1~12/15)

【463者、232,483千円】

○原材料価格高騰への負担軽減

◇肥料価格高騰における化学肥料低減に向けた支援

- ・ 肥料価格の高騰に対応するため、化学肥料の低減に向けた取組みに必要な施設・機械の導入を支援

肥料高騰対策緊急整備事業費補助金(受付:9/28~10/12)

【121者、279,736千円】

◇畜産農家への自給飼料生産設備導入への支援

- ・ 配合飼料価格の高騰に対応するため、自給飼料生産に要する設備の導入を支援

自給飼料生産基盤拡大緊急対策支援事業費補助金(受付:7/14~7/29)

【6者、37,000千円】

#### ◇県産材利用拡大支援

- ・ 県産木材の高騰に対応するため、県内工務店に対し県産木材の使用量に応じ価格高騰分を支援

住宅用県産材高騰対策緊急支援事業費補助金(受付:7/1~R5.1/31)

【26者(34棟)、20,987千円】

#### ○エネルギー利用高効率化設備などの導入経費への支援

##### ◇エネルギー利用高効率化設備導入への支援

- ・ 電力価格の高騰による県内企業への影響を踏まえ、エネルギー利用の高効率化が図られる設備の導入経費を支援

岐阜県エネルギー価格・物価高騰対策設備整備事業費補助金(エネルギー高効率化設備導入)(受付:10/28~R5.2/28)

【47者、227,687千円】

##### ◇森林サービス産業事業者の省エネ設備導入への支援

- ・ 原油価格・物価高騰の影響を軽減するため、既存設備から省エネ効果の高い設備への改修を支援

岐阜県森林サービス産業緊急支援事業費補助金(受付:7/8~8/12、8/17~R5.1/31)

【2者、3,679千円】

#### ○その他の支援

##### ◇サプライチェーン対策などの生産設備導入への支援

- ・ 部品を国内生産に切り替える等のサプライチェーン対策に必要な生産設備導入を支援

サプライチェーン対策生産設備導入事業費補助金(受付:4/1~5/10)

【35者、819,746千円】

##### ◇農畜水産物などの輸出拡大に向けた経費への支援

- ・ 資材費などの価格高騰が経営を圧迫する中、円安を契機として輸出を拡大するために必要な商品改良や商談費用などを支援

新規輸出促進緊急対策事業費補助金(受付:6/30~)

【4者、13,764千円】

##### ◇県産材の供給拡大に必要な設備導入への支援

- ・ 国際情勢などによる外国産材の供給不足に伴う国産材の急速な需要拡大に対応するため、木材加工事業者の木材乾燥機の導入や、林業事業者の高性能林業機械の導入などを支援

県産材安定供給システム支援事業費補助金(受付:7/29~R5.3/31)

【3者、115,285千円】

木材生産緊急対策事業費補助金(受付:6/8~6/24、8/1~8/10)

【8者、56,822千円】

### ③観光産業の回復に向けた支援

#### ○県内旅行割引キャンペーン「ほっと一息、ぎふの旅」実施による観光事業の支援

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、県内旅行割引キャンペーンを実施し、観光需要の喚起と県内観光事業者への支援を継続

【第1弾(県民割)】4/5～28(約5.5万人利用)

【第2弾(ブロック割)】5/9～10/10(約78.3万人利用)

【全国旅行割】10/11～12/27(約44.9万人利用)

#### ○電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」による地域観光支援

- ・ 原油価格・物価高騰の影響を受けた観光産業の回復に向け、電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」の対象事業を拡充
- ・ ぎふ旅スタンプラリー『ひだ・みの戦国めぐり』(9/21～R5.1/31)
- ・ 道の駅スタンプラリー(12/1～R5.1/31)
- ・ ぎふ旅スタンプラリー「私が出逢う東美濃」(12/15～R5.2/15)
- ・ JR東海連携事業(6/16～8/31、11/1～R5.2/28)
- ・ 名古屋鉄道連携事業(12/1～R5.2/28)
- ・ 日本ライン限定版「ぎふ旅コイン」キャンペーン(10/5～12/5)
- ・ 木曾川中流域フラッグシップイベント  
「日本ライン・KISOGAWA River to Summit2022」(11/5・6)



## 2 アフター・コロナ ～未来を創る～

アフター・コロナに向け、「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」を策定するとともに、「ぎふDX支援センター」を設置するなど県内のDX支援を図る体制を整備し、「オール岐阜」でのDX推進に取り組みました。

また、SDGs達成に向けた取組みや2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けた取組みを進めるとともに、地方回帰の流れを踏まえた移住・定住促進に向けた環境整備、新たな産業創出のための支援など、持続可能な岐阜県づくりを進めました。

### (1) デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

#### ① 「岐阜県DX推進計画」の策定と「オール岐阜」でのDX推進体制の整備

##### ○ 「岐阜県DX推進計画」の策定

- ・ 市町村長や各界代表者などオール岐阜での議論を経て、「誰一人取り残されないデジタル社会」を基本理念とする「岐阜県DX推進計画」を策定(3/28)

##### ○ DXトップフォーラムの初開催と113分野のプロジェクトの策定

- ・ 市町村長とDXに関する共通理解を深める「DXトップフォーラム」を開催。併せて、計画実行の施策集となる113分野のプロジェクトを策定・公表(7/21)

##### ○ 県内DXをワンストップ支援する「ぎふDX支援センター」の設置

- ・ 有識者等のアドバイザー、サポーター企業と連携して、県内DXをワンストップ支援する「ぎふDX支援センター」を設置(7/5) 【相談件数 43件】

##### ○ DX推進の機運醸成を図る「ぎふデジタルの日2022」の初開催

- ・ 国が創設した「デジタルの日」に合わせ、「ぎふ結のもり」を模した仮想空間(メタバース)を舞台に、DXに関する講演会や最新技術・製品等の展示を行うオンラインイベント「ぎふデジタルの日2022」を開催(10/26～28)

#### ② デジタル技術による地域課題解決に向けた取組み

##### ○ 新たな連携の枠組み「『地域×デジタル』連携協議会」の設置

- ・ 地域課題解決に向け、県・市町村・関係機関で構成する連携協議会を2地域(下呂市、揖斐川町)で設置し、プロジェクト策定に向けて議論を開始  
下呂地域医療×デジタル連携協議会(9/29、12/1)  
揖斐川地域移動支援×デジタル連携協議会(9/21、12/26)

##### ○ 保健所業務のひっ迫解消に向けた新型コロナウイルス感染症患者情報のデータベース化

- ・ 患者情報を効率的に管理し、患者を的確にフォローするシステムを、健康福祉部職員と「ぎふDX支援センター」が開発し、保健所業務のひっ迫解消に貢献

##### ○ デジタルデバイド(情報格差)解消に向けた高齢者のデジタルスキルアップ支援

- ・ 県内各地でスマホ教室を開催したほか、岐阜各務野高校や加納高校の生徒がスマホ教室の講師となる世代間交流を実施(計59回(11月末現在))

- ・ 県の運用するスポーツ実施促進アプリ「スポーツタウン WALKER」を活用したイベントを開催(10/3・24、11/4・25、12/2)

#### ○デジタルツールを活用した地域防災力の強化

- ・ 住民の自発的で円滑な避難を支援するため、避難のタイミングや避難先などをまとめる「災害・避難カード」をWEB上で作成できるサイトを開設(3/30)
- ・ LINE「岐阜県公式防災アカウント」において、避難情報や気象情報をリアルタイムで配信を開始(6/15)

#### ○デジタルツールを活用した環境保全への意識醸成と行動喚起

- ・ 環境に関する様々な情報や環境学習プログラム等にワンストップでアクセスできる「ぎふ環境学習ポータルサイト」を開設(3/17)
- ・ 清掃活動ウェブページ「クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～」を開設(5/19)。ゴミ拾いSNS「ピリカ」との連動により、清掃活動を「見える化」し、自主的な活動の活性化による海洋ごみ対策を推進。また、重点モデル区域として高山市と垂井町を設定し、散乱ごみの調査・発生抑制対策を実施(主な清掃活動イベント 5/28、10/22)

### ③県内企業のDX支援

#### ○デジタル人材の育成・確保

- ・ 高度な知識や経験、高い技能を有する即戦力人材(プロフェッショナル人材)の獲得や活用を支援するため県内4圏域(岐阜、飛騨、西濃、東濃)でセミナーを開催(11/16・29、12/8・9)
- ・ ソフトピアジャパンを拠点に、IoT導入やAI活用、リスクリングに関する研修等、県内企業が自らDX推進を図るために必要な人材の育成を支援(4/1～R5.3/31)

#### ○中小企業等のデジタル化支援の強化

##### ◇デジタルツールを活用した地場製品の販路拡大の推進

- ・ ECサイトにおける県産品販売を支援

中国:「WeChat」内特設サイト(R3.4/1～2/28)

【参加企業数30社】

アメリカ:「アマゾン・ドット・コム」、「イーベイ」(R3.9/1～2/28)

【参加企業数29社】

欧州:「アマゾン・ドット・コム」(9/26～R5.3/25)

【参加企業数20社】

- ・ ECサイトを活用した物産展を開催

楽天市場「岐阜県WEB物産展」(7/1～8/31)

【参加企業数104社】

##### ◇クラウドサービス等の導入によるDXのファーストステップ支援

- ・ デジタル技術を活用して経理事務等のバックオフィス業務の効率化や部門連携を進めるため、クラウドサービス等の導入を支援(システム導入に精通した専門家による伴走支援)(4/1～R5.2/28)

#### ◇県内製造業・ものづくり企業のDX推進

- ・ テクノプラザ内に県内製造業・ものづくり企業のDXやデジタル化を支援する情報発信スペースとして「DXベース」をオープン(9/26)
- ・ 県内製造業・ものづくり企業がDXに取り組むきっかけ作りを図るため、テクノプラザにて「ぎふものづくり×DXフェス」(講演会及び展示会)を開催(11/24)

#### ○観光分野におけるDXの推進

##### ◇デジタル技術を活用した生産性向上・業務効率化に向けた取組みの支援

- ・ 人手不足の解消や経営基盤の強化に向けて、県内12のモデル宿泊施設に専門家を派遣し、デジタル技術を活用した業務効率化・生産性向上を推進するとともに、好事例をまとめた事例集を作成
- ・ 県内宿泊施設が実施する生産性向上・業務効率化に向けたデジタル技術を活用した取組み等を支援

デジタル技術活用等による生産性向上推進補助金(受付:6/30~8/31)

【約60事業者、約95,000千円(申請額)】

##### ◇デジタル技術を活用したプロモーション活動の支援

- ・ 県内観光事業者が実施するデジタルマーケティング手法を活用したプロモーション活動を支援  
観光デジタルマーケティング手法を活用したプロモーション支援事業費補助金(受付:7/12~11/30)

【約30事業者、約50,000千円(申請額)】

- ・ 県内観光事業者向けに、観光デジタルマーケティング(旅行客の嗜好にあった情報を効率的に届けるための手法)の実践研修を実施(11/14~R5.3 計133講座)

#### ○農業分野におけるDXの推進

- ・ データに基づく経営改善や栽培指導をする「農業DX指導者」育成のため、年間を通じた研修会を実施(6/6~R5.3 計8回)。また、現場で栽培指導を行う普及指導員等を対象に、遠隔で栽培指導ができるメガネ型のスマート機器「スマートグラス」の効果的な活用方法について勉強会を開催(9/30)
- ・ 農業所得向上に向け、クラウド型データ連携基盤「農業DXプラットフォーム」の構築に向けた検討会を実施(7/8、10/13)
- ・ 実証済みのスマート農業機械の効果を県内生産者等に広く発信し、技術を普及するための実演会を開催(11/1)。くり生産を対象としたVRシステム、eラーニングシステム、農薬散布用ドローンの完全自動運航は全国初

## (2) 持続可能な社会づくり (SDGs・脱炭素社会)

### ① SDGs 達成に向けた取組みの推進

#### ○ SDGs 推進に向けた普及啓発と人材育成

- ・ 「清流の国ぎふ」SDGs ネットワーク会員に対し、SDGs の理解を促進するため、SDGs に取り組む意義、県内の先進事例を学ぶセミナー(2/17、5/25、12/21)やSDGs に積極的に取り組む工場・事業所の見学会を開催(9/5、11/8)
- ・ ネットワーク会員がSDGs の普及啓発として実施する、イベント、情報発信、人材育成を支援  
「清流の国ぎふ」SDGs 推進ネットワーク連携促進補助金(受付:4/1~6/30、8/1~9/30、11/1~11/30)

【65 会員、22,920 千円】

- ・ ネットワーク会員数が1,000を達成(7/7)
- ・ SDGs の本質に迫り、一人ひとりの行動につなげるため、「清流の国ぎふ」SDGs 推進フォーラムを開催(10/4)

#### ○ 「岐阜県SDGs 未来都市計画」改訂に向けた準備

- ・ 「岐阜県SDGs 未来都市計画」の今年度改訂に向け、有識者等からなる「清流の国ぎふ」SDGs 推進会議を3回開催。新型コロナウイルス感染症等の影響による社会経済情勢の変化やそれに伴う新たな課題のほか、豊かな自然といった「岐阜県らしさ」を踏まえ、計画素案を作成しパブリック・コメントを実施(10/27~11/25)

#### ○ 食品ロス削減の推進

- ・ 食品ロスの削減を総合的かつ計画的に推進するため、令和4年度から9年間を計画期間とする「岐阜県食品ロス削減推進計画」を策定(3/30)
- ・ 家庭系食品ロスの削減のため、高山市、恵那市、海津市及び関連事業者等と連携し、各家庭から集めた未利用食品を地域の生活困窮者支援団体等に寄付する「フードドライブ」を県として初実施(海津:9/17~10/16、高山:10/1、恵那:10/15)

### ② 「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けた取組みの推進

#### ○ オール岐阜での「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けた取組みの推進

- ・ 各業界団体の代表者、有識者、行政からなる「『脱炭素社会ぎふ』推進協議会」を、全庁体制での「岐阜県温室効果ガス排出抑制推進本部員会議」と合同開催(9/7、11/29)。新たな削減目標やその達成に向けた具体策について議論

#### ○ 再生可能エネルギー利活用の促進

- ・ 各家庭で利用される電気について、再生可能エネルギー由来の電気に切り替えるための促進キャンペーン「再生可能エネルギー由来電気グループ購入『EE電キャンペーン』」を市町村と連携して実施。再エネ由来電気のグループ購入は、東海北陸地方では初(募集期間:1/18~3/15)

【参加登録 440 件、切替 20 件】

### ○温室効果ガスの排出削減に向けた取組みの推進

- ・ 事業活動に伴う温室効果ガス排出削減に向けた取組みを促進するため「温室効果ガス排出削減業種別実務セミナー」を開催(9/20、10/12)

### ○次世代自動車の普及に向けた取組みの推進

- ・ 走行時に二酸化炭素を排出しない燃料電池自動車(F C V)の導入を促進するため、県内事業者へF C Vの貸出を開始(3/22)
- ・ 岐阜県中小企業団体中央会に自動車電動化(E V化)に対応する相談窓口を設置(4/1～)。中小企業のE V化対応戦略・計画策定を支援
- ・ (公財)岐阜県産業経済振興センターによる、自動車産業のカーボンニュートラルや電動化をテーマとした「次世代自動車オンラインセミナー」の開催(6/23、7/22)を支援

### ○森林由来のJ-クレジット制度の普及啓発と認証取得の促進

- ・ 適切な森林管理による二酸化炭素の吸収量をクレジットとして国が認定する制度の認証取得を促進するため、「J-クレジット制度活用セミナー」を開催(10/25)

### ○プラスチック資源の循環促進に向けた取組みの推進

- ・ 県内のスーパーマーケットにおいて、総菜や果物の容器としてバイオプラスチック容器の周知と使用を促進するキャンペーン「ぎふ発 脱炭素！地球にやさしい容器を選ぼうキャンペーン」を実施(10/22～11/23)
- ・ 事業者、県民、行政が一体となってプラスチック資源の循環を促進していくため、「岐阜県プラスチック・スマート事業所『ぎふプラスマ！』」登録制度がスタート。プラスチック資源の循環に取り組む事業者を対象に、登録事業者の募集を開始(11/16～)

## (3) 新次元の地方分散・新たな産業の創出

### ①移住・定住促進に向けた取組み

#### ○サテライトオフィスの誘致・整備促進

- ・ ソフトピアジャパンセンターへの、情報通信技術(I C T)を活用した施設利用型テレワーク用サテライトオフィスの設置を支援(4/1～R5. 3/31)

【10者】

- ・ 県外法人の県内サテライトオフィスお試し体験を支援  
岐阜県サテライトオフィスお試し体験事業費補助金(受付:4/1～R5. 1/31)

【2者、218千円】

- ・ 県外法人が入居する賃貸用サテライトオフィスの県内整備を支援  
岐阜県サテライトオフィス拠点整備等補助金(受付:4/4～5/16)

【3者、64,825千円】

#### ○移住定住促進に向けたPRの強化

- ・ J R新宿駅、Osaka Metro 梅田駅、J R名古屋駅の主要駅構内の大型ビジョンで岐阜県移住者(14組)の暮らしを紹介する動画を放映(東京:1/31～2/6、大阪・名古屋:3/14～20)

- ・ 梅田BIGMAN(大阪)、金山NAIS(名古屋)等の大型ビジョンで岐阜県をPRする動画を放映(大阪:12/26~R5.1/8、名古屋:12/1~R5.2/28)
- ・ 6人の人気インフルエンサーによる岐阜県移住定住PR動画をYouTubeで配信(公開開始日:R3.11/26~2/23)
- ・ ナナちゃん人形を「ミナモ」をイメージした衣装に装飾するとともに、ナナちゃんストリートを岐阜県への移住をPRするフラッグやポスターで飾り付け岐阜県をPR(3/16~22)

#### ○リモートワークを活用した移住促進施策の展開

- ・ リモートワークによる岐阜県への移住希望者を対象にオンライン移住体験ツアーを開催(1/15)
- ・ リモートワークを活用した新しい働き方と暮らし方が体験出来る施設の紹介や、地域との交流体験等を組み合わせた「モデルプラン」を掲載した冊子を作成し、名古屋圏の企業等に配布(3/25~)

#### ○移住定住促進に向けた「岐阜県地域課題解決型起業支援金」の支給

- ・ 東京23区に在住又は在勤している方が、岐阜県に移住し、地域の課題解決に取り組むための起業や事業承継を支援(5/13~6/23、7/22~10/28)

【5者、4,855千円】

### ②新たな産業の創出

#### ○「ぎふ宇宙プロジェクト研究会」による宇宙産業の育成・支援

- ・ 「ぎふ宇宙プロジェクト研究会」において、国内外の宇宙産業の動向等を学ぶための勉強会(2/24)やセミナー(7/8・14、12/16)を開催したほか、高校生を対象にした宇宙産業で活躍する起業家を育成するための研修会を開催(8/8~10)
- ・ 岐阜大学においてJAXAやプラネットサイエンス(フランス国立宇宙研究センター内研究グループ)の協力のもと「宇宙工学講座」を開講(6/26~12/17)

#### ○航空宇宙等成長産業の競争力等の強化

- ・ 航空宇宙分野や医療・福祉機器分野の人材育成のためのセミナー(1/19、9/29、10/24)や研修会(11/16~R5.2/15)を開催
- ・ 「岐阜県成長・雇用戦略」において成長産業に位置付けている「航空宇宙」と「医療福祉機器」産業において、競争力強化、新規参入を目指す中小企業の取組みを支援

航空宇宙・医療福祉機器産業等競争力強化支援事業費助成金(受付:3/24~4/26、7/4~7/29)

【6者、19,228千円】

#### ○県内雇用創出の促進

- ・ 2021年(1月~12月)における本県の製造業等の工場立地件数が「全国3位(前年5位)」、立地面積が「全国3位(前年7位)」と高順位を維持
- ・ 「クラウドファンディング」について効果的な活用を支援するためのセミナーや相談会「はじめてのクラウドファンディング」を開催(2/26、3/9)
- ・ 部品メーカーの水谷産業(株)、(株)ヨロズ、(株)ジーテクトが、新工場を建設するため、それぞれ多治見市、輪之内町、海津市と協定を締結(4/27、6/21、11/24)

## Ⅱ 未来を見据えた「清流の国ぎふ」づくり

### 「清流の国ぎふ」創生総合戦略に基づいた施策の展開

「清流の国ぎふ」創生総合戦略の3本柱に沿って、未来を見据えた「清流の国ぎふ」づくりを積極的に進めました。

若者や産業の担い手など、これからの岐阜県を支えていく人材を確保・育成するとともに、障がいの有無や性差などに関わらず、多様な人材が活躍できる環境整備に取り組みました。

また、新県庁舎の整備をはじめとした危機事案への対応力強化のほか、子どもの安全確保や健康意識の向上に向けた取り組みなど「健やかで安らかな地域づくり」を進めました。

加えて、「清流の国ぎふ」の自然、歴史、文化、伝統、食などの魅力を、様々な機会を通じて発信したほか、「岐阜和傘」が伝統的工芸品に指定され、「郡上踊」「寒水の掛踊」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、国内外から高い評価を受けました。

#### (1) 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

##### ① 農業・福祉関連事業の推進

###### ○ 農福連携による障がい者の就労支援等の推進

- ・ 農福連携の取組みを強化するため、「ぎふ農福連携アクションプラン」を策定(4/13)し、「ぎふ農福連携推進本部」を設置(9/6)
- ・ 農業分野と福祉分野の相互理解を深めるため、農業者、障がい福祉サービス事業所職員、JA、市町村職員等を対象に農福連携の先進事例を学ぶ「農福連携推進研修会」を開催(9/20、11/8、12/13)
- ・ 県内外の16事業者がノウハウ商品の販売や農福連携の先進的な取組み紹介する「全国農福連携マルシェ in ぎふ」を開催(11/5・6)

###### ○ 花の担い手育成拠点「清流の国ぎふ花と緑の振興センター」の開所

- ・ 企業や大学等の研究機関と連携して花と緑の産業の活性化を推進するため、花の担い手育成と産業振興の拠点となる「清流の国ぎふ花と緑の振興センター」を県農業技術センター内に設置(4/20)

##### ② 岐阜を支える人材の確保・育成の推進

###### ○ 県内就職・転職の促進に向けた県内企業の魅力の発信

- ・ 県下最大級の合同企業展「オール岐阜・企業フェス」を前年度に引き続きオンラインで開催(1/20～3/18)。企業情報をはじめ、本県在住の人気動画クリエイターが制作したPR動画の配信等、オンラインならではの魅力を発信
- ・ Uターン就職・転職を促進するため、名古屋市での就活フェアを開催(10/31)したほか、アクティブGを会場とした就転職フェアを開催(11/25・26)

## ○就職氷河期世代の就労の促進

- ・ 就職氷河期世代の方の正規雇用就職に向けた I T 資格の取得支援のため「I T 資格取得支援オンライン講座」を開催(8/1~R5. 2/28)

## ③女性活躍の推進

- ・ 次世代の農業担い手を確保するとともに、農業分野における男女共同参画社会を推進するため、県内で活躍する女性農業者 20 人をロールモデルとして選定(7/6)
- ・ 女性活躍に向けた企業の取組みを促進するため、「清流の国ぎふ女性の活躍推進フォーラム」を開催(10/8)。併せて「ぎふ女のすぐれもの」認定式を行い4品を認定

## ④パラスポーツの推進

- ・ パラスポーツの裾野拡大や認知度向上を図り、障がい者の社会参画を促進するため、パラスポーツ体験やパラアスリートの講話などを行う「岐阜県パラスポーツフェスタ」を、飛騨圏域で開催(11/26)

## ⑤ぎふ木遊館を拠点とした「ぎふ木育」の推進

- ・ 令和2年7月にオープンした「ぎふ木遊館」が、開館後1年10か月で来館者5万人を達成(5/26)
- ・ ぎふ木遊館では、認知度を高めるために、竹下景子名誉館長を招いた特別イベントとして「サマーフェスタ」(8/6)と「オータムフェスタ」(10/15・16)を開催

## (2)健やかで安らかな地域づくり

### ①子どもを産み育てやすい地域づくりの推進

- ・ 物価高騰等による子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、高校生等の子どもがいる一定の所得未満の世帯に対し、1世帯あたり1万5千円の給付金を支給(12月上旬~)

### ②健康づくりの推進

- ・ 血液製剤の安定的な確保を図るため、献血啓発を行う学生ボランティアの登録制度の創設や SNS による情報発信等を行う、若年層向け献血啓発事業「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」を開始(7月~)
- ・ 健康診断、ウォーキング、スポーツイベントの参加など、健康づくり・スポーツに取り組むことで特典がもらえる「清流の国ぎふ 健康・スポーツポイント事業」のスマートフォンアプリの運用を開始(8/1)
- ・ 食と健康に対する意識の向上につながる取組みを連携、協力して実施するため、県と味の素(株)が「食と健康づくりに関する連携協定」を締結(8/23)



### ③児童虐待事案への対応力強化、犯罪被害者等の支援

- ・ 県、岐阜市、岐阜市教育委員会及び岐阜県警の相互連携を強化し、児童虐待等に係る児童の安全確保を図るため、「児童虐待事案等に係る連携に関する協定」を締結(2/21)。県、市及び県警が同一施設内で児童虐待事案等に対応する全国初の施設「こどもサポート総合センター」を、岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」内に開所(4/1)
- ・ 岐阜県犯罪被害者等支援計画に基づき犯罪被害者等を支援するため、犯罪被害者等支援コーディネーターを設置(4/1)

### ④「旧統一協会」被害者の支援

- ・ 「旧統一教会」に関する専用の相談窓口を開設(10/7～12/28)したほか、「旧統一教会」に関する被害者の実情やニーズを共有し、関係者と連携して被害者の適切な支援につなげるため「旧統一教会被害者問題連絡会議」を開催(10/25、11/29)

### ⑤災害・危機事案への対応力強化

- ・ 市町村の危機管理・防災体制の一層の充実を図るため、市町村長を対象とした危機管理対応研修「トップフォーラム」をオンラインで開催(5/20)
- ・ 大規模災害を想定した物資輸送訓練(9/7)や道路啓開訓練(10/20、11/15、11/30)を実施
- ・ 北朝鮮からの度重なるミサイル発射に対して、県民の安全を確保するため市町村を対象に弾道ミサイルを想定した初動対応の研修会(8/26)や住民を対象に避難訓練(10/30、12/5・10・11)を実施。国民保護法に基づく緊急一時避難施設として「地下横断歩道」や「地下を有する施設」を新たに286施設指定(7/29、9/30)

### ⑥家畜伝染病対策の徹底

- ・ 飛騨地域において緊急を要する病性鑑定ができる体制を整え、県全体の家畜防疫体制を強化するため「飛騨家畜保健衛生所」を新築・移転し、開所(6/3)
- ・ ウイルス侵入防止に万全を期すため、県内養豚場(9/1～30)及び県内養鶏場等(11/7～25、12/15～28)において一斉消毒を実施
- ・ 高病原性鳥インフルエンザや豚熱への防疫体制強化のため、移動式焼却炉を活用した防疫演習を開催(10/12)したほか、高病原性鳥インフルエンザの万が一の発生に備えた防疫体制の再確認と徹底を図るため机上防疫演習を開催(11/14)

### ⑦生活を支えるインフラの整備

#### ○名鉄名古屋本線鉄道高架化事業の推進

- ・ 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業を円滑に進めるため、県と岐阜市との「鉄道高架化事業現地合同本部」を開所(4/1)

#### ○「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」の推進

- ・ 「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」の今年度改訂に向け、有識者からなる「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略ブラッシュアップ懇談会」(3/22、11/25)や、全市町村長、経済関係団体の長、観光関係団体の長による「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」を開催(4/25)

- ・ 令和3年10月末の瀬戸トンネルでの事故で中断していたリニア中央新幹線のトンネル建設工事が、半年ぶりに再開(5/13)

#### ○県庁舎前の公園「ぎふ結<sup>ゆい</sup>のもり」の開園

- ・ 県庁舎建設工事と一体的に整備を進めてきた県庁舎前の公園が「ぎふ結のもり」として開園(7/16)

#### ○新県庁舎の完成

- ・ 災害対策の中核拠点、また、地域の魅力発信拠点として、3年余りの大工事を経て、56年ぶりとなる新県庁と議事堂が完成し、竣工式を開催(12/16)

#### ○その他のインフラ整備

- ・ 内ヶ谷ダムにおいてダムの安泰を祈願する定礎式を開催(5/30)
- ・ 「白山白川郷ホワイトロード」岐阜県側の開通(6/17)
- ・ 国道360号 種蔵・打保バイパス「塩屋トンネル」の完成(8/9)
- ・ 令和3年5月から通行止めとなっていた川島大橋の歩行者用仮橋が開通し、地元の小学生等が参加して渡り初め式を開催(8/26)
- ・ 災害復旧中の主要地方道乗鞍公園線(乗鞍スカイライン)の路側が崩壊(9/9)。学識経験者等から構成される対策検討会により復旧工法の検討を実施(9/22～)

#### ⑧交通事故防止の推進

- ・ 自転車利用中のヘルメット着用の努力義務や自転車損害賠償責任保険等への加入義務を定めた「岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が全面施行(10/1)

### (3) 地域にあふれる魅力と活力づくり

#### ①「清流の国ぎふ」文化・芸術・ブランドの創造・伝承

##### ○「『清流の国ぎふ』文化祭2024」開催に向けた取組みの推進

- ・ 「『清流の国ぎふ』文化祭2024」の開催に向け、基本構想を策定(4/18)し、実行委員会を設立(7/6)。日比野克彦氏(岐阜県美術館館長・東京藝術大学学長)を総合プロデューサーに、小島紀夫氏(岐阜県教育文化財団総合プロデューサー兼支配人)を開閉会式総合演出家に委嘱(11/15)
- ・ 「『清流の国ぎふ』文化祭2024」のロゴマーク及びポスター原画を県内公募作品(ロゴマーク509点、ポスター原画621点)の中から決定(11/15)

##### ○「清流の国ぎふ総文2024(第48回全国高等学校総合文化祭)」開催に向けた取組みの推進

- ・ 岐阜県実行委員会を設立(6/10)したほか、高校生が主体的に大会の準備や企画運営に携わって準備を進めていくために生徒実行委員会を設置し、委員となる高校生へ委嘱(7/16)

## ○文化・芸術活動の推進

### ◇「エンジン01in岐阜」の開催

- ・ コロナ禍で延期していた「エンジン01in岐阜」を2年越しに開催(10/28～30)。オープンカレッジというコンセプトのもと、各分野の第一線で活躍する100人を超える知識人らが岐阜大学で講座を行ったほか、サラマンカホールなどでシンポジウムやコンサートを開催

### ◇「全国将棋サミット2022」の開催

- ・ 全国の将棋を通じた地域振興に取り組む自治体が一堂に会して連携交流を図る将棋の祭典「全国将棋サミット2022」を、「大関ヶ原祭2022」と併せて開催(10/9)

### ◇県現代陶芸美術館開館20周年、県美術館開館40周年記念展覧会の開催

- ・ 県現代陶芸美術館において「開館20周年記念 ロマンティック・プログレス」展を開催(9/17～11/13)。県美術館においては「開館40周年記念 前田青邨展 究極の白、天上の碧ー近代日本画の到達点ー」を開催(9/30～11/13)

### ◇「清流の国ぎふ地歌舞伎勢揃い公演」の開始

- ・ 県内地歌舞伎保存団体が2年にわたり順次リレー公演する「清流の国ぎふ地歌舞伎勢揃い公演」が開幕(4/30～R6.3/17)
- ・ 会場となる「ぎふ清流文化プラザ」を「ぎふ清流座」として花道・枱席を備えた芝居小屋に整備

### ◇「『清流の国ぎふ』文化・芸術フォーラム」の開催

- ・ アートを活用した地域活性化の方策を探るため、県内の市町村長や文化団体の関係者など約150人が参加する「『清流の国ぎふ』文化・芸術フォーラム」を開催(10/11)

## ○「岐阜和傘」が国の伝統的工芸品に指定

- ・ 江戸時代から製造されている工芸品「岐阜和傘」が、飛騨春慶、一位一刀彫、美濃焼、美濃和紙、岐阜提灯に次いで、本県で6品目となる国の「伝統的工芸品」に指定(3/18)

## ○「郡上踊」や「寒水の掛踊」を含む「風流踊」のユネスコ無形文化遺産への登録

- ・ 「郡上踊」や「寒水の掛踊」を含む「風流踊」について、ユネスコ評価機関がユネスコ無形文化遺産への登録を勧告(11/1)し、モロッコで開催されたユネスコ政府間委員会で正式に登録(11/30)

## ②「スポーツ立県・ぎふ」の推進

### ○北京冬季オリンピック・パラリンピックでの県ゆかりの選手の快挙

- ・ オリンピックでは県ゆかりの選手として出場した3人全員が銅メダルを受賞。パラリンピックでは1人が7位入賞

### ○「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」の策定

- ・ 「誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ」を基本目標として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」を策定(3/28)

### ○ぎふ清流ハーフマラソンのリアル開催

- ・ 「第11回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」を3年ぶりに実走で開催(4/24)。参加ランナー全員にPCR検査を実施のうえ、徹底した感染症対策を講じ、約7,700人のランナーが参加

## ③自然環境の保全と継承

### ○「岐阜県野生動物管理推進センター」の開所

- ・ 県と岐阜大学において、AI・ICT技術等を活用し効果的な野生動物の管理(被害対策等)を進めていくため、「岐阜県野生動物管理推進センター」を岐阜大学内に設置(4/1)

### ○「御嶽山」が国定公園の新規指定候補地に追加

- ・ 環境省が「御嶽山」を国定公園の新規指定候補地の一つに選定(6/14)

## ④サステイナブル・ツーリズム(持続可能な観光)の推進

### ○「NEXT GIFU HERITAGE(ネクスト ギフ ヘリテージ) ～岐阜未来遺産～」認定制度の創設

- ・ 「岐阜の宝もの」認定制度を刷新し、「サステイナブル・ツーリズム」の国際指標を導入した認定基準により、世界から認められる観光プログラムを「NEXT GIFU HERITAGE ～岐阜未来遺産～」として認定する新制度をスタート(6/8)

### ○木曾川中流域の魅力づくり

- ・ 日本ラインと称される木曾川中流域一帯で、川遊びやウォーキング、マルシェ等、川と山とまちのつながりを通して持続可能な観光の形を考えるイベント「日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2022」を開催(11/5・6)

### ○「世界の持続可能な観光地100選」コラボ企画の開催

- ・ 「世界の持続可能な観光地100選」に選ばれた長良川流域と白川村が連携し、地域課題の解消とおもてなし向上を目的とした合掌造民宿への軒先への岐阜提灯設置のほか、両地域の魅力を紹介するパネルや伝統工芸品の展示を実施(10/6～11/6)

## ⑤岐阜関ヶ原古戦場記念館を核とした戦国・武将観光の推進

- ・ 令和2年10月にオープンした「岐阜関ヶ原古戦場記念館」が、開館後1年10か月で来館者20万人を達成(8/26)
- ・ 岐阜関ヶ原古戦場記念館オープン以来初の関ヶ原全体を舞台としたイベント「大関ヶ原祭2022」を3年ぶりに開催(10/8～10)。「関ヶ原ナイト」では野外朗読音劇を実施。「武将イベント」では、棋士を招いた人間将棋を開催したほか、東西対決をテーマとした各種イベントや、記念館の外壁に合戦の様子を描いた屏風絵等を映し出すプロジェクションマッピングなどを実施

## ⑥岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(愛称「空宙博」)を拠点とした魅力の発信

- ・ パートナーシップ協定を締結しているシアトル航空博物館との最初の連携事業として、シアトルの街並みやシアトル航空博物館の展示物を写真とともに紹介する「シアトル紹介パネル展」を開催(1/22~3/14)
- ・ 平成30年3月のリニューアルオープン以降の入館者数が100万人を達成(5/15)。記念イベントとして、低騒音<sup>エストロール</sup>STOL実験機「飛鳥」の機内を特別公開
- ・ JAXA種子島宇宙センター宇宙科学技術館・鹿児島県・空宙博を結ぶオンラインイベント「『宇宙』でつながろう!鹿児島と岐阜」を開催(7/17)。宇宙科学技術館のオンライン見学や鹿児島と岐阜の子どもたちによるオンライン交流を実施

## ⑦県営都市公園の魅力の発信

### ○「ぎふワールド・ローズガーデン」入園者数30万人、「ぎふ清流里山公園」入園者数250万人の達成

- ・ 令和3年10月「ぎふワールド・ローズガーデン」への名称変更以降の入園者数が30万人を達成(5/28)
- ・ 平成30年4月に「ぎふ清流里山公園」としてリニューアルオープン以降の入園者数が250万人を達成(8/20)

### ○モロッコガーデンのオープン

- ・ モロッコの職人がモロッコで造った本物のモロッコ庭園である「モロッコガーデン」がオープン(10/15)。開園式典には、日本ばら会の名誉総裁で、ぎふワールド・ローズガーデンにある「フレンドシップガーデン」の名誉園長<sup>ともひとしんのうひのぶこ</sup>の寛仁親王妃信子殿下のご臨席を賜る。

### ○令和7年度「都市緑化フェア」の本県開催の決定

- ・ 令和7年度に県内6カ所の県営都市公園を舞台として、その魅力を全国に発信する、国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化フェア」の岐阜県での開催が決定(9/12)

## ⑧リトアニアとの交流の促進

### ○リトアニア・カウナス市における日本イベント「Japan Days in Kaunas WA」への参加

- ・ クロージングセレモニーで、「飛騨・美濃観光大使」の加藤拓三氏<sup>かとうたくみ</sup>(3/24 委嘱)による和太鼓演奏と田中旭泉氏<sup>たなかきよせん</sup>による筑前琵琶演奏をビデオ上映したほか、知事のビデオメッセージを上映(4/30)

### ○「リトアニアNOW2022」の開催

- ・ 前駐リトアニア日本国特命全権大使による講演会やリトアニアゆかりの音楽家によるコンサートの開催のほか、リトアニアの文化教室や市民講座を開催。その他、リトアニアの歴史・文化、食・工芸等、多様な魅力を発信(8/19~9/19)

⑨岐阜県人会インターナショナル(G K I)との連携の強化

- ・ G K I が主催した「岐阜県人世界大会」の開催(10/29・30)を支援するとともに、県とG K Iにおいて「県産品の海外展開に関する覚書」を締結(10/29)し、G K Iのネットワークを活用した世界各国での県産品のP Rや販路の拡大を推進

⑩「鹿児島・岐阜姉妹県盟約50周年記念式典」の開催

- ・ 鹿児島県と岐阜県の交流を振り返るとともに、今後の一層の連携強化を図るため、鹿児島・岐阜県知事懇談会及び鹿児島・岐阜姉妹県盟約50周年記念式典を関ヶ原で開催(4/24)

⑪「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」で入賞

- ・ 5年に1度の和牛のオリンピックである「全国和牛能力共進会鹿児島大会」が開催(10/6～10)。肉牛の部で優秀枝肉賞を受賞したほか、高校生の部では県立飛騨高山高校が優等賞を受賞

⑫「食」を通じた魅力の発信

- ・ 名古屋の有名ホテルで県産食材を使った「岐阜フェア」を開催
  - 第1弾(1/20～3/14):ストロベリーフェア(美濃娘、濃姫、華がかりを使用)
  - 第2弾(5/9～6/19):まるごと岐阜フェア(飛騨牛や結旨豚、鮎、地酒等を使用)
  - 第3弾(6/28～6/29):岐阜バル(飛騨牛やポーノポーク、鮎、えだまめ等を使用)
- ・ 岐阜長良川温泉旅館協同組合の旅館・ホテルで、ぎふ清流G A P食材メニューフェアを初開催(10/4～10)